

2019 年度実施概要

学校名

長野県松本市立安曇小学校

採択活動名

山・川・海をつなぐ環境教育

取り組みの概要

梓川・上高地とつながる海

学区内の国立公園および梓川水系で環境保全に努める人々の努力や自然と関わる地域の歴史を学びながら、環境に関する関心や知識を深め、自分たちにできることを探り行動する子どもの姿をめざして

学習内容

低・中・高学年ごとに目的を設定し、環境教育（上高地学習）を行っている。今年度はそこに、海とのつながりという要素を探りながら取り組んできた。

(a) 「梓川・上高地とつながる海」（6年生）について

- ・牛伏川の砂防工事（フランス式階段工）の教材化
- ・砂防工事はなぜ県や市を越えて国の直営工事なのかという問いを考えていくことで、川を通して内陸地と海のつながりに気づいていく仕組み
- ・牛伏川は、田川・犀川を經由して信濃川となり新潟港へ流出する。新潟港は日米修好通商条約で開港した日本海唯一の重要港で、そこへの土砂流入を食止めるため国の直営工事とした背景がある。

(b) 本学習を支える各学年の学習

本校の特色から、低学年は上高地に親しむ活動をし、海とつながる学習は高学年からといったように、学年に応じて段階的に海とつながる学習

- ・上高地や梓川における自然体験や遊び等（1・2年生）
- ・冬の上高地学習、上條嘉門次の学習（3・4年生）
- ・大正池の浚渫見学（河床上昇をふせぐために土砂を取除く作業）（6年）

活動中の写真



実施単元名

1. 梓川・上高地とつながる海（6年生・社会、総合）
2. 上高地学習（全年生）